



ほけんだより 9月

令和5年9月 白鳥保育園 看護師

ご家庭での事故やケガへの注意は万全でしょうか。小さな子どもは、まだ何が危険かを予測することが出来ず、好奇心旺盛で怖いもの知らずです。大人が安全な環境を整えてあげましょう。

8月の感染症

- ウイルス性腸炎（分園1名）
- インフルエンザA（分園1名）
- 新型コロナウイルス感染症（分園1名）
- 突発性発疹（本園1名・分園3名）

9/9は救急の日



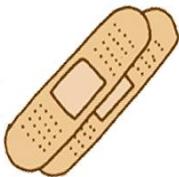
救急箱の中身、 チェックしてますか？

★普段使うものを清潔な入れ物に入れておきましょう。ただし、滅菌ガーゼや薬は使用期限がありますし、テープ類は古くなると粘着力が弱くなります。
1年に1回は中身をチェックしましょう。

CHECK!

絆創膏

けがをした部位に合わせて選べるよう、形やサイズをいくつか用意しておくとう便利。



はさみ

救急箱専用にしておくとう衛生的で安心です。

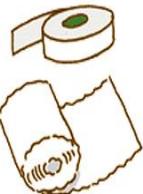


体温計



ガーゼと医療用テープ

傷口を保護したり、薬を塗った上にかぶせたりして使います。個包装の滅菌タイプが使いやすいでしょう。



毛抜きやピンセット

皮膚に刺さったとげを抜いたりするのに使います。

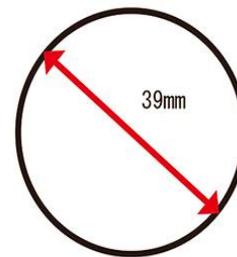


常備薬

(虫よけ、かゆみ止め、化のう止めなど)



家の中の事故を防ぎましょう

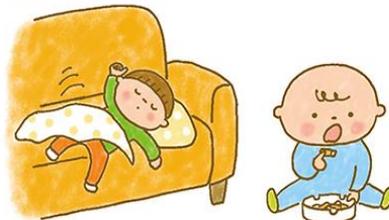


子どもにとって安全に過ごせる家の中が、じつは事故の危険性が高い場所だということをご存じでしょうか？**0～6歳の子どもの事故の約40%は家の中で起こっています。**事故は様々ですが、特に命にかかわるのが**窒息**です。0歳児が圧倒的が多いものの、他の年齢も0ではありません。家の中を安全・安心な場所にするために、もう一度チェックしましょう。

小さいものはしっかり管理

3歳の子どもの口の大きさは約4cm。これより小さなものは、子どもの手の届かないところに保管しましょう。ボタン電池、ナッツ類、たばこ、薬など、身近なものでも飲み込むと危険なものはたくさんあります。

リビングなど



ソファやベビーベッドから落ちたり、たばこを飲み込んだりといった事故がよくあります。

キッチン



炊飯器や電気ポットなど、調理器具によるやけどが多い場所。

浴室



残り湯に落ちる、入浴中にちょっと目を離したすきにおぼれるなど、水の事故の危険があります。

ベランダ



台などによって手すりを越える事故が、3歳以降急増します。危険なものがないかチェックしましょう。